

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券／インデックス型
信 託 期 間	無期限（2013年5月13日設定）
運 用 方 針	・主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）とします。（2026年5月12日現在） ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。
主 要 運 用 対 象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資します。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。



運用報告書（全体版）

第13期

（決算日 2026年5月12日）

SBI・iシェアーズ・全世界債券 インデックス・ファンド （愛称：サクっと全世界債券）

追加型投信／内外／債券／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI・iシェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド（愛称：サクっと全世界債券）」は、2026年5月12日に第13期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
9 期 (2022年 5 月12日)	12,772	0	3.2	13,088	2.2	99.0	1,464
10期 (2023年 5 月12日)	12,953	0	1.4	13,358	2.1	98.5	1,524
11期 (2024年 5 月13日)	14,723	0	13.7	15,437	15.6	99.0	3,237
12期 (2025年 5 月12日)	14,531	0	△ 1.3	15,289	△ 1.0	98.6	7,102
13期 (2026年 5 月12日)	16,156	0	11.2	17,075	11.7	99.2	11,061

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注 2) ベンチマークは、2024年 2 月 9 日までがFTSE世界BIG債券インデックス（円換算ベース）（参考指標）、それ以降がブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）（ベンチマーク）を基に算出した合成指数です。
(注 3) ベンチマークは設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2025年 5 月12日	14,531	—	15,289	—	98.6
5 月末	14,353	△ 1.2	15,084	△ 1.3	98.7
6 月末	14,563	0.2	15,321	0.2	99.0
7 月末	14,998	3.2	15,811	3.4	98.5
8 月末	14,864	2.3	15,654	2.4	98.3
9 月末	15,154	4.3	15,973	4.5	99.0
10月末	15,793	8.7	16,666	9.0	99.0
11月末	16,102	10.8	16,978	11.0	98.5
12月末	16,037	10.4	16,941	10.8	99.0
2026年 1 月末	15,772	8.5	16,661	9.0	98.8
2 月末	16,173	11.3	17,089	11.8	99.1
3 月末	16,309	12.2	17,229	12.7	98.6
4 月末	16,402	12.9	17,346	13.5	99.0
(期 末)					
2026年 5 月12日	16,156	11.2	17,075	11.7	99.2

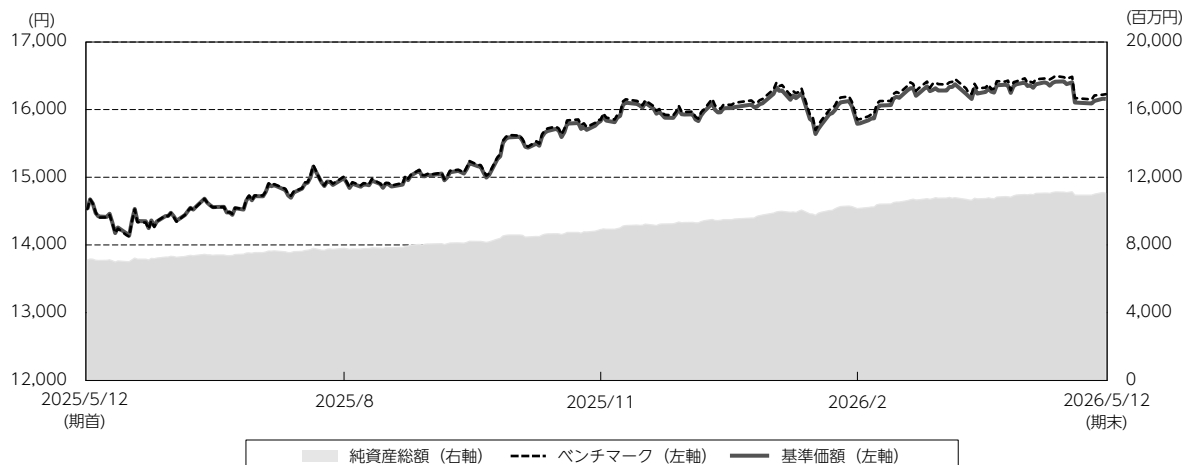
(注 1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注 2) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）です。
(注 3) ベンチマークは設定日の値をファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

参考指標：「FTSE世界BIG債券インデックス」
FTSE世界BIG債券インデックスとは、FTSE社により運営され、世界の国債、政府・政府系機関債、担保付証券、社債などの総合投資利回りを時価総額で加重平均した債券指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

ベンチマーク：ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）
ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）は、Bloomberg社により運営され、複数の自国通貨市場のグローバルな投資適格債で構成される旗艦インデックスです。同インデックスに対する著作権、知的所有権その他一切の権利はBloomberg社に帰属します。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年5月13日から2026年5月12日まで）

○基準価額等の推移



期 首：14,531円

期 末：16,156円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 11.2%

（注1）ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、2025年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国におけるインフレ鈍化および景気のソフトランディング期待による金利の低下
- ・ 米国とともに世界各国の中銀が利下げサイクル入り（日本を除く）
- ・ 世界各国の国債からの高いインカムと金利低下による価格の上昇
- ・ 為替市場のドル高

下落要因

- ・ 米国のインフレ高止まりによる米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げペースの鈍化
- ・ 財政赤字の拡大
- ・ 米国によるイラン攻撃開始によるエネルギー（原油）価格の上昇

○投資環境

＜先進国債券市場＞

2025年5月からの全世界の債券市場の動きは、インフレ鈍化期待と金融政策転換への思惑を軸に、金利低下圧力と構造的な上昇要因が交錯する形で推移しました。先進国では「利下げ開始時期」への期待と「財政・需給要因」への懸念の綱引きが続き、市場は方向感に乏しい相場展開となった一方、新興国では外部環境の変化に応じた資本フローの振れが顕著となりました。

2025年5月から夏場にかけては、米国を中心にインフレ指標の緩やかな低下が確認され、FRBの利下げ観測が強まったことから、米国債利回りは低下基調となりました。欧州でも同様にインフレ減速が確認され、欧州中央銀行（ECB）の金融緩和姿勢への転換期待が高まり、ドイツ国債利回りなど主要金利は低下しました。一方で、米国では財政赤字拡大や国債増発に伴う需給悪化懸念が意識され、長期ゾーンの金利低下は限定的となり、イーールドカーブはフラット化傾向が継続しました。

秋から年末にかけては、米国経済の底堅さが再評価され、特に雇用市場や個人消費の強さが確認され、FRBの利下げ開始時期が後ずれするとの見方が広がり、米国長期金利は再び上昇圧力を受けました。この動きはグローバルに波及し、欧州やカナダ、オーストラリアなどでも長期金利が上昇基調となりました。また、日本においては金融政策正常化に向けた動きを背景に長期金利が上昇し、グローバルの金利情勢に影響を与えました。結果として、主要国の金利はレンジ内で大きく上下するボラティリティの高い展開となりました。

2026年初から春先にかけては、物価上昇圧力の一段の沈静化と景気減速懸念の顕在化を背景に、主要中央銀行が実際に利下げトレンドへと移行しました。これにより、米国債を中心にグローバルで金利低下が進行、特に長期ゾーンでは景気後退リスクの織り込みが進む形で低下幅は拡大しましたが、2月の終わりに始まった米国によるイラン攻撃が開始されたことからエネルギー価格が急上昇し、インフレ懸念が再燃したことを受け世界的に金利は大きく上昇しました。

この1年間の世界債券市場は、「インフレ収束と金融緩和への移行」という大きなテーマのもと、景気の底堅さや財政要因による上昇圧力と拮抗しながら推移し利下げ局面入りが明確となり、金利は低下方向に収れんする動きとなったものの、2026年2月の終わりには米国によるイラン攻撃が始まり、エネルギー価格（原油価格）の高騰によりインフレ懸念が高まり、今までの利下げトレンドが一転、世界的に利上げトレンドへ転換したことから金利は急上昇し、結局この1年の金利水準はほぼ横ばいという結果になりました。

＜外国為替市場＞

外国為替市場の動きは、米欧の金融政策転換期待と景気動向を軸としつつ、2026年2月以降の米国によるイラン攻撃を契機とした地政学リスクの高まりが大きな変動要因として作用する展開となりました。

2025年5月から夏場にかけては、米国のインフレ鈍化と利下げ観測の高まりを背景に、ドルはやや軟調に推移する一方、ユーロや資源国通貨は相対的に堅調でした。しかし6月にはイスラエルによるイラン攻撃を受けて中東情勢が緊迫化し、「リスクオフ」の流れから安全資産としての米ドル需要が高まり、ドルは主要通貨に対して上昇した一方で円は安全通貨としての側面を持ちながらも、金利差やポジション要因の影響から上昇は限定的で、相場の反応は通貨ごとにばらつきが見られました。

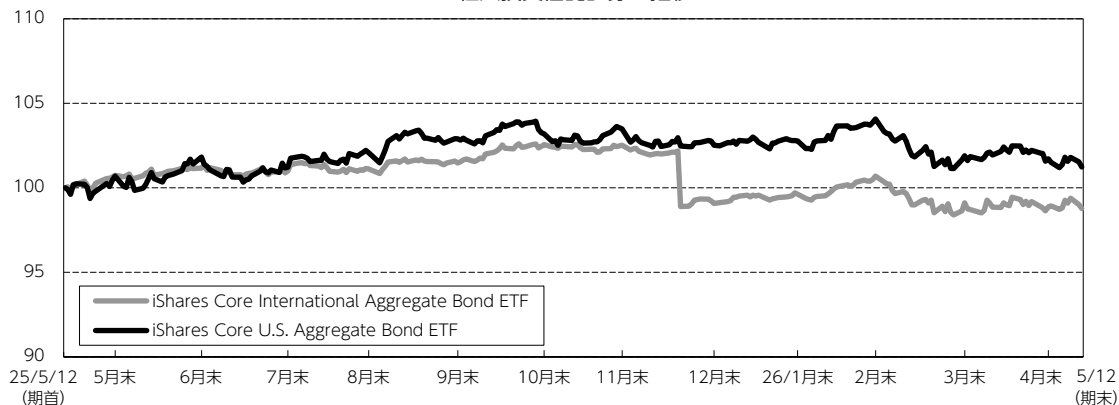
2025年後半に入ると、米国経済の底堅さを背景に利下げ期待が後退し、ドルは再び堅調地合いを強めました。特に欧州や新興国通貨に対しては、成長鈍化懸念や資本流出圧力を受けてドル高が進行した一方で原油価格の変動が為替市場にも影響を与え、資源輸出国通貨（豪ドルやカナダドル）は相対的に底堅さを維持したものの、世界的なリスク選好の変化に応じて上下動の激しい展開となりました。

2026年初にかけては、一時的にドル安方向への調整も見られましたが、2月末に始まった米国による大規模なイラン攻撃を受けて市場は再び大きく変動しました。同攻撃により原油供給不安の高まりが金融市場全体をリスク回避姿勢へと傾かせ、為替市場では典型的な「有事のドル買い」が発生したことからドル指数は上昇、ユーロやアジア通貨は下落圧力を受けました。また、原油価格上昇は輸入国通貨（円やユーロ）に対する下押し要因となり、特に円はエネルギー輸入増に伴う実需のドル買い圧力から軟調に推移しました。

その後、4月以降は停戦期待の高まりを背景に過度なリスク回避が後退し、ドル高の一部巻き戻しが進行、原油価格の上昇も一服し、為替市場はリスクオン・リスクオフの振れを繰り返しながら徐々に安定化へ向かったものの、引き続き情勢は不透明な状況が継続しております。

この1年間の外国為替市場は、金融政策格差を基軸としながらも、イラン攻撃を契機とする地政学リスクが為替レート短期的な方向性を大きく左右しました。特に「有事のドル買い」と原油価格上昇を通じた通貨間格差の拡大が特徴的であり、ドルの相対的優位が維持される一方で、エネルギー輸入国通貨や新興国通貨は不安定な推移を余儀なくされた一年でした。

<組入投資信託証券の推移>

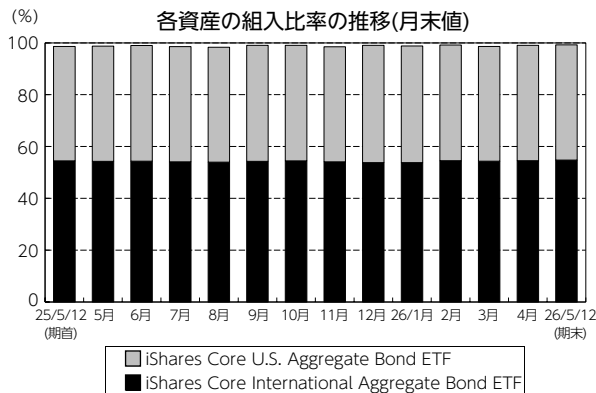


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を100として指数化しています。

(注2) 期末時点の各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

○当ファンドのポートフォリオ



ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）に連動する投資成果を目標とし、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

【組入投資信託証券の資産構成比率】

	組入上位10カ国	構成比率
1	米国	43.9%
2	中国	10.1%
3	日本	6.3%
4	フランス	5.3%
5	ドイツ	4.6%
6	英国	4.3%
7	カナダ	3.8%
8	イタリア	3.0%
9	スペイン	2.4%
10	ルクセンブルク	2.1%

	債券種別	構成比率
1	政府機関債	36.3%
2	社債	26.4%
3	米国国債	20.9%
4	パススルー証券	9.8%
5	地方債	2.4%
6	国際機関債	1.2%
7	米国政府機関債	1.1%
8	モーゲージ債	0.9%
9	商業不動産担保証券	0.6%
10	資産担保証券	0.2%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

（注1）2026年4月30日時点の比率です。

（注2）当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

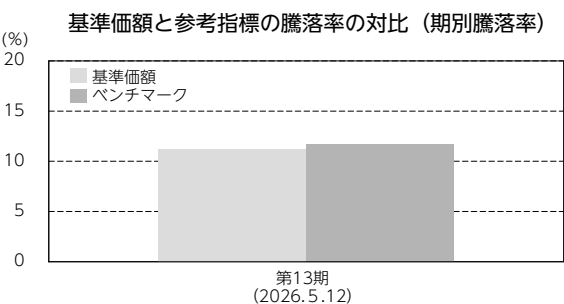
（注3）投資信託証券を通じて投資する債券の評価額合計に対する比率です。

【組入投資信託証券の騰落率】

投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF	米国の債券	米ドル	1.2%
iShares Core International Aggregate Bond ETF	米国以外の債券	米ドル	△1.2%

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は、11.2%の上昇となり、ベンチマークであるブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）の騰落率11.7%を概ね0.5%下回りました。



(注) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2025年5月13日～ 2026年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,156

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。当ファンドの運用にあたっては、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 5 月13日～2026年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (4) (4) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	4 (1) (1) (2)	0.025 (0.006) (0.007) (0.012)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	14	0.089	
期中の平均基準価額は、15,543円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

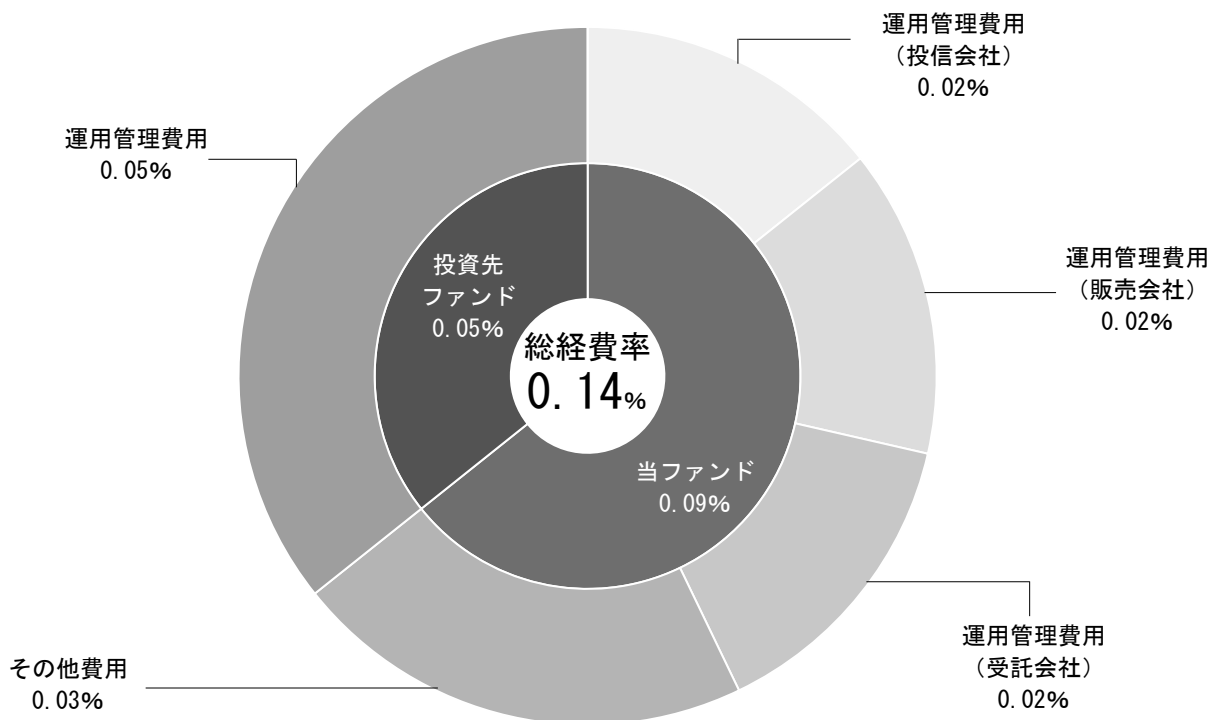
(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.14%**です。



総経費率（①+②）	0.14%
①当ファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月13日～2026年5月12日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ		口	千ドル	口	千ドル
		ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	98,403	9,806	2,525	254
		ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	246,687	12,505	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月13日～2026年5月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘 柄 名		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千ドル	千円	%
ISHARES CORE U. S. AGGREGATE BOND ETF		219,827	315,705	31,229	4,916,153	44.4
ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF		522,810	769,497	38,474	6,056,710	54.8
合 計	口 数 ・ 金 額	742,637	1,085,202	69,704	10,972,864	99.2
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	< 99.2% >	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年 5 月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 10,972,864	% 98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	173,496	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	11,146,360	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 当期末における外貨建て純資産（10,973,137千円）の投資信託財産総額（11,146,360千円）に対する比率は98.4%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月12日における円換算レートは、1ドル＝157.42円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	11,146,360,750円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	173,493,050
投資信託受益証券(評価額)	10,972,864,853
未 収 利 息	2,847
(B)負 債	84,588,514
未 払 解 約 金	80,669,602
未 払 信 託 報 酬	3,212,800
そ の 他 未 払 費 用	706,112
(C)純 資 産 総 額(A－B)	11,061,772,236
元 本	6,846,749,001
次 期 繰 越 損 益 金	4,215,023,235
(D)受 益 権 総 口 数	6,846,749,001口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	16,156円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	4,887,715,554円
期中追加設定元本額	3,818,014,804円
期中一部解約元本額	1,858,981,357円

○損益の状況 (2025年5月13日～2026年5月12日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	292,923,931円
受 取 配 当 金	366,572,172
受 取 利 息	△ 73,648,241
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	451,511,826
売 買 益	552,004,466
売 買 損	△ 100,492,640
(C)信 託 報 酬 等	△ 7,971,871
(D)当期損益金(A+B+C)	736,463,886
(E)前期繰越損益金	34,965,767
(F)追加信託差損益金	3,443,593,582
(配当等相当額)	(2,820,114,495)
(売買損益相当額)	(623,479,087)
(G)計(D+E+F)	4,215,023,235
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	4,215,023,235
追 加 信 託 差 損 益 金	3,443,593,582
(配当等相当額)	(2,820,114,495)
(売買損益相当額)	(623,479,087)
分 配 準 備 積 立 金	771,429,653

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(289,787,000円)、費用控除後の有価証券等損益額(226,440,916円)、信託約款に規定する収益調整金(3,443,593,582円)および分配準備積立金(255,201,737円)より分配対象収益は4,215,023,235円(10,000口当たり6,156円)ですが、当期に分配した金額はありません。

<ご参考>組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF	米国の債券	Bloomberg US Aggregate Bond Index (USD Hedged)	0.03%	ブラックロック・ファン্ড・アドバイザーズ

組入上位10銘柄	比率
BLACKROCK CASH CL INST SL AGENCY	3.1%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE	0.4%
TREASURY NOTE (2OLD)	0.4%

出所：ブラックロック・ファン্ড・アドバイザーズのデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2026年3月31日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iShares Core International Aggregate Bond ETF	米国以外の債券	Bloomberg Barclays Global Aggregate ex USD 10% Issuer Capped (Hedged) Index	0.07%	ブラックロック・ファン্ড・アドバイザーズ

組入上位10銘柄	比率
EUR/USD	1.0%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7%
BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.6%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.6%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5%
CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5%
CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5%

出所：ブラックロック・ファン্ড・アドバイザーズのデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2026年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第13期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。